

これは早出居残りはないのであり、準工にをればそれが行なはれる。とすれば會社側の向けられる視角は實收入のバランスである。若し右のやうな場合、準工が定期工と同額以上の基本給を得るとするならば定期工と準工との實收入は明らかアンバランスを構成する。定期工と準工との間にバランスが保たれてゐる以上労働者内部の對立は緩和されるであらうし、そのことは同時に會社の利潤創出に寄與してゐるのである。だから準工の基本給が定期工に比べて低下することは會社にとつては合目的なものである。この點から評するならば同會社は最も大膽に資本主義的な經營を行つてゐるとも言ひ得るであらう。

それから更に注目すべきは準工から本工になる場合のことである。右表によれば手當は同額に止まり、基本給が五錢増加してゐる。それだけ行はれるかと言ふところに問題がある。前述の如く若し準工から本工になるのに四年もかゝるとすれば一年間に僅か一錢二厘五毛の日給増加にしかならないであらう。この様な事例はあまり澤山無い様であ

には早出居残りはないのであり、準工にをればそれが行なはれる。とすれば會社側の向けられる視角は實收入のバランスである。若し右のやうな場合、準工が定期工と同額以上の基本給を得るとするならば定期工と準工との實收入は明らかアンバランスを構成する。定期工と準工との間にバランスが保たれてゐる以上労働者内部の對立は緩和されるであらうし、そのことは同時に會社の利潤創出に寄與してゐるのである。だから準工の基本給が定期工に比べて低下することは會社にとつては合目的なものである。この點から評するならば同會社は最も大膽に資本主義的な經營を行つてゐるとも言ひ得るであらう。

それから更に注目すべきは準工から本工になる場合のことである。右表によれば手當は同額に止まり、基本給が五錢増加してゐる。それだけ行はれるかと言ふところに問題がある。前述の如く若し準工から本工になるのに四年もかゝるとすれば一年間に僅か一錢二厘五毛の日給増加にしかならないであらう。この様な事例はあまり澤山無い様であ